

キャリアアクション通信

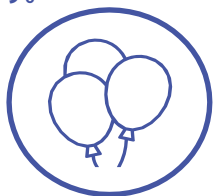
2021/07/20 学習指導部

キャリアアクション・プロジェクトとは？

本校では、平成30年度より自らの進路(career)に向けて主体的に行動(action)するという意味を込め、「キャリアアクション・プロジェクト」を開始しました。このプロジェクトは、①地域とのかかわりを通し、社会の一員としての役割を自覚すること、②ロールモデルから生き方を学び、進路意識と学習へのモチベーションを高めること、③自分自身の進路実現に向けて主体的に粘り強く取り組むことをねらいとしています。

1 学年キャリアアクション1期スタート

1年生では、まちづくり、ものづくり、医療、保育、栄養、スポーツ、情報、国際、教育の9つの分野に分かれ、地域との関わりや課題解決に向けてグループで取り組みます。地域との関わりを通して、自ら考え、主体的に行動することがねらいです。



「地域の課題について考える」

5月31日(月) 6, 7時限

9分野に分かれ、キャリアアクション1期のグループ活動をスタートしました。それぞれの分野で、各自が調べてきた地域の課題について話し合い、その解決に向けて高

校生としてできることは何かを考え、意見を出し合いました。生徒間の話し合いの中で挙げられた地域の医療や安全に関すること、情報モラルの低下、労働力不足などの様々な課題について、当事者意識を持って、取り組みます。



「出前授業その1」

7月5日(月) 6, 7限

1学年は、進路への興味関心に応じた分野に分かれ、地域の課題について考え、その解決に向け始動しました。各分野に関する知識を深めるために、7月には、大学の出前授業を実施しました。第1回のこの日は、まちづくり、教育、医療の3分野での実施となりました。

◆まちづくり分野 宇都宮大学地域デザイン科学部 准教授 近藤伸也先生
『防災マップをみんなで考えよう』

講義を受講後、校外へ出て、近藤先生にご説明いただきながら、地域の危険箇所を探して回りました。



◆医療分野 国際医療福祉大学
医療福祉・マネジメント学科
教授 山本康弘先生
『医療福祉入門講座』

◆教育分野 白鷗大学教育学部
教授 金井正先生
『夢を叶えましょう』

医療と教育の分野では、それぞれ医療福祉の各専門職や教員に求められる適性や心構えなどを教えていただき、今後医療

や教育を目指す一員として地域にどのように貢献できるかを考えていきます。



「出前授業その2」

7月12日(月) 6, 7限

1学年における出前授業2回目を実施しました。まちづくり、情報、ものづくり、国際の分野で出前授業が行われました。

◆まちづくり分野 宇都宮大学地域デザイン科学部 准教授 近藤伸也先生
『防災マップをみんなで考えよう』

5日に地域の危険箇所を探し歩いた記録を元に、実際に「防災マップ」の作成に取りかかりました。また、熱海の土砂災害を事例に災害後の対応についての講義もしていただきました。

◆情報分野 宇都宮大学共同教育学部教授 川島芳昭先生
『ネット犯罪(情報モラル)と少子高齢化(情報格差)について』

「言葉だけの知識ではなく、その言葉を他人事でなく自分事として考える」など、これからの社会の中で正しく情報を収集し、適切に発信していくことの重要性を学ぶことができました。

◆ものづくり分野 帝京大学理工学部教授 蓮田裕一先生

『ロボットのお仕事』
栃木県における産業用ロボットメーカーの紹介やロボットの仕組み等の講義していただき、実際にロボットの操作も体験させていただきました。



◆国際分野 元 JICA 海外協力隊ラオス隊員（助産師）大竹恵美先生

「1人では何もできない。協力者を見つけて、想いを共に活動する」という言葉に心を動かされた生徒が多くいました。仲間と共に今後自分たちがどのように行動すべきかを考えました。



「小西おはなし会」

7月14日（水）

1学年「保育分野」の生徒と JRC 部員が小山

市立豊田南小学校を訪問し、小学生を対象とした読み聞かせを体験しました。小山市立中央図書館の方から講義を受け、絵本を選ぶことから始めました。小学校での本番は、緊張もありましたが、笑顔で迎えてくれた小学生のみなさんに喜んでもらいたいという気持ちで取り組むことができました。



「出前授業その3」

7月19日（月）6, 7限

まちづくり、医療、保育、栄養の分野で出前授業を行いました。スポーツ分野は2学期実施の予定です。実施の様子は次回の通信でお伝えします。

2年生の活動

「大学見学」

6月21日・23日

21日は理型2クラスが、帝京大学、国際医療福祉大学へ、23日には文型3クラスが、帝京大学、国際医療福祉大学、作新学院大学へバスにて見学に訪れました。コロナ禍により県内の大学限定での実施でしたが、多くの生徒にとって、実際に大学に足を踏み入れるはじめての機会となり、進路意識の向上につながりました。模擬授業や施設見学、本校卒業生の話などを通して、「実際に現地に行くことでしか分からないことを知ることができるいい機会だった」や「たくさんの大学を調べ、オープンキャンパス等に参加するべきだと思った」などの感想がありました。（写真は帝京大学キャンパス見学の様子）



「先輩の話」

7月19日（月）6限

平成30年度卒業の大学3年生5名が来校し、2学年に向けて高校時代における進路選択や大学生活について話をしてくれました。詳細は次回の通信でお届けします。

3年生の活動

「キャリアアクションの集大成、進路プレゼンテーションに向けて」

3年生は、大学等の「アドミッション・ポリシー研究」に始まり、「入試研究」として多様化する入試形態や「学費研究」等の研究を4月より段階的に進めてきました。また、6月の模試の結果を踏まえ、夏休みから入試本番に向けての具体的な学習計画を立てているところです。

そしていよいよ7月下旬からの三者面談では、これまでの研究を材料とし、進路実現に向けた自分の決意を保護者の方の前で発表します。大学等について知り、自分の決意を語ることで、長く険しい受験を乗り越えられると信じています。



夏休みを有効に

◆1学期、特に1・2年生はキャリアアクションの行事が多数ありましたが、どの行事にも、意欲的に参加してくれたことにうれしく思っています。

◆大学見学については、例年は志望の学問系統ごとに県外の大学へ出かけるところですが、本年度はコロナ禍により県内に限定せざるを得ませんでした。しかし、大学側に見学を快諾していただいたこともあり、この現状における最大限のことができたのではないかと考えています。生徒・保護者の皆様には、感染対策などご協力いただきありがとうございました。◆夏休みは、生徒のみなさん自身が行動を起こし、オープンキャンパス（Web開催もあり）にぜひ参加してください。特に2年生は、情報収集を積極的に行い、自分自身の課題のテーマを模索し、研究を進める準備をしてください。

◆3年生は、受験に向けていよいよ「キャリアアクション完成期」に入ります。総合型選抜や学校推薦型選抜を希望する生徒のみなさんは、進路指導部主催の「コミュニケーション・トレーニング」に参加し、志望理由や自己PRを固めてください。一般選抜を希望するみなさんは、模試の振り返りをし、学習計画を見直していきましょう。キャリアアクション・プロジェクトを通して、描いてきた未来の自分を思いながら、学習に励んでください。

◆今回ご紹介しました活動については、本校HPにも掲載しています。ぜひご覧ください。（学習指導部 早川）

大学見学で気づいたこと・考えたこと～実施後のアンケート・感想～

●将来やりたいことが見つければ、それに向かって勉強ができるし、勉強へのやる気も変わると考えた。●大学はやりたいことを学ぶ場所なので、慎重に考える必要があると思いました。●大学はまだ誰も達成したことがないことに挑戦する場所だと思った。●実際に大学へ行って授業の感じや実習・演習を見たことで、自分がやりたい学科ではどのような実習をしているのかやその雰囲気を知ることができました。今日の体験で得たことをもとに、進路についてまよく考えたいと思いました。●大学では、自ら動いて資格を取らないといけないと分かった。●大学の偏差値や雰囲気で決めるのではなく、どの学科でどの先生に教わりたいかで大学を決めたほうがよいと思った。●将来就きたい仕事と関連した職業のことも調べてみる必要があると気づいた。●大学入試に必要な学力はもちろん大学入学後の勉強も頑張るための精神力などを養っておく必要があると思った。●いろいろな大学の情報を照らし合わせて、自分の将来のためにどの大学に進学するのが自分に合っているのか知る必要があることに気づいた。●様々な大学のオープンキャンパスに参加し、自分に合った学校を探し、将来につながる大学を選びたい。●どんな学部学科に行くにもやはり勉強をたくさんしなければならぬということが改めて分かりました。これからは自分が大変だと思うことも将来のためにやっていくことが大切だと思いました。●大学について知らないことがたくさんあるので、なるべく多く情報を集めたい。

